

科目	政治経済	学年	第3学年	開講	通年	必修	2 単位
----	------	----	------	----	----	----	------

教科書：実教出版「高校政治・経済」
副教材：実教出版「高校政治・経済 演習ノート」

1 学習の到達目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能 定期考査、課題等
- b 思考・判断・表現 定期考査、課題等
- c 主体的に学習に取り組む態度 平素の授業態度、提出物、発表等

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考査
前期	現代の政治	民主政治の基本原則	政治と法	政治における権力の役割と限界について考える	4	中間
			民主政治の原理と発展	・国民権や基本的人権の保障が主張されること、それによって市民革命が実現し、民主政治が生み出されたことを理解させる。		
			世界の政治体制	・世界の政治体制を例に、議院内閣制と大統領制の特徴を理解させる。		
			民主政治の混迷と課題			
		日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立	・大日本帝国と日本国憲法の違いを理解させる	5	
			平和主義	・日本国憲法の特徴と基本原理について理解させる。		
			基本的人権の保障	・日本国憲法における平和主義を理解する。また、日本の自衛隊のあり方や、国際貢献について考えさせる。		
		日本の政治機構	立法	・日本の三権分立制の特徴を理解させる。また、民主主義を機能させるための議会制民主主義について考える。	6	
			行政	・内閣と内閣総理大臣の権限を理解させる。		
			司法	・司法権の独立の意義を考えさせる。また、国民の司法参加の意義と課題について理解を深める。		
			地方自治			
		現代日本の政治	戦後政治の歩み	・日本の政党政治に触れ、55年体制の展開を理解させる。	7	
選挙制度と政党	・政党の役割を理解させ、日本の選挙制度の課題について確認させる。					
政治参加と世論						
現代の国際政治	国際政治の特質と国際法	・国際法が人類に果たす役割について法の支配が居かない国際政治という立場から考えさせる。	7			
	国際連合と国際協力	・国際連盟の意義と失敗を考えさせる。				
	核兵器と軍縮	・東西冷戦の過程と世界の安全保障について理解させる。				
	人種・民族問題	・日本の国際社会への復帰と取り組みについて理解させる。				
前期 授業評価						
後期	現代の経済	現代社会の変容	経済活動の意義	・資本主義経済の基本的な仕組みを理解し、資本主義社会の発展について考える。	9	中間
			経済社会の形成と変容	・経済の国境を越えた取り組みについて考える。		
			グローバル化と現代資本主義経済			
		現代経済のしくみ	市場機構	・企業・家計・政府が国民経済で果たす役割を理解させる。	10	
			現代の企業	・株式会社のしくみと現代企業のCSRについて考える。		
			国民所得と経済成長	・フローとストックの定義について正確に理解する。		
			金融のしくみ	・経済活動における銀行の役割を理解する。		
		現代経済と福祉の向上	日本経済の歩み	・高度経済成長期の諸問題を考える。また、バブル経済とその後の崩壊による長期不況を考える。	11	
			日本の中企業と農業	・中小企業の役割や地位を理解する。		
			国民の暮らし	・日本の消費者問題について考える。		
			環境保全と公害防止	・日本の公害の歴史を振り返り、環境問題や新たなエネルギー問題について考える。		
			労使関係と労働条件の改善	・社会保障制度の発達について整理する。		
世界経済と日本	商品・資本の流れと国際収支	・国際収支のしくみについて理解する。	12			
	国際経済体制の変化	・第二次世界大戦後のアメリカ中心の経済体制を理解する。				
	金融のグローバル化と世界金融危機	・金融のグローバル化による国際的な金融危機についてそのメカニズムを理解する。				
	地域経済統合と新興国の台頭					
現代日本の諸課題	地域社会の変貌と住民生活	・現代の日本における諸問題の中から、課題を選び、その課題と解決方法を考える。	1			
	中小企業の新しい変化					
	農業・農村と食料、環境問題					
	雇用と労働をめぐる問題					
	これからの社会保障のあり方					
	地域環境の保全と経済成長					
	原子力と再生可能エネルギー					
	人種・民族問題					
	国際経済格差の是正と国際協力					
	国際社会における日本の立場と役割					
後期 授業評価						

3 評価の観点

各観点100点満点で算出する。
 ○知識・技能 : 考査素点 70%+課題等 30%
 ○思考・判断・表現 : 考査素点 60%+課題等 40%
 ○主体的に学習に取り組む態度 : 平素の授業態度、提出物、発表等…100%